

Press Release

【2025 年 10 月 16 日】
送付枚数 本票含め 2 枚



報道機関 各位

山口大学人文学部 一般開放シンポジウム型集中講義「人文ムセイオン 2025」

秋冷の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

山口大学人文学部では、第 13 回ホームカミングデーにおいて、『人文ムセイオン 2025』を開催いたします。『人文ムセイオン』とは、共通テーマに沿って、人文学部 4 人の教員が研究発表を行い、その後、聴衆とディスカッションする「シンポジウム」形式の授業です。この授業は一般に開放されており、学生、教職員、卒業生だけでなくどなたでも参加できます。今年度（共通テーマは「祈り」）は既に登録者が 350 名を超えるなど、山口大学有数のアカデミック・イベントとなっています。一般市民や高校生のみなさんには、人文学を学ぶたのしみ・よろこびを感じられる機会、また大学での最新の学びを体感する機会になると思います。

詳細は、別添のチラシを御覧いただきますと幸いです。

つきましては、朝の早い時間の開催となりますが、当日の取材・報道等について、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

また、取材を希望される場合は、10 月 23 日（木）までに、山口大学人文学部 学務係（TEL 083-933-5209、E-mail : hc134@yamaguchi-u.ac.jp）までご連絡をお願い申し上げます。

記

1. 日 時：令和 7 年 10 月 25 日（土）8：50～16：10（8：00 開場）
2. 場 所：山口大学吉田キャンパス 共通教育 1 番教室
3. 内 容：共通テーマ：「祈り」

開会の辞 竹中幸史（コーディネーター・山口大学人文学部西洋史学）

1. 後醍醐天皇の倒幕構想と調伏祈祷 真木 隆行（日本史学）
2. 新春に言祝ぐ一尾張万歳にみる祈りー 谷部 真吾（民俗学）
3. 「祈り」を広めることー初期近代オランダの東洋学者たちとオスマン帝国における宣教ー 稲垣 健太郎（比較文学）
4. 原爆・核の表象と〈祈り〉 野坂 昭雄（日本文学）

4. 対 象：山口大学学生、教職員、卒業生および一般の方
5. 参加費：無料

●この件に関する詳細は下記までお問合せください。

山口大学人文学部 学務係
TEL : 083-933-5209
E-mail hc134@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学総務企画部
総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5007
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

人文ムセイオン2025

日時:10月25日(土)8時50分～ 会場:山口大学共通教育1番教室

共通テーマ:「祈り」

1. 後醍醐天皇の倒幕構想と調伏祈祷 真木 隆行 (日本史学)
2. 新春に言祝ぐ一尾張万歳にみる祈りー 谷部 真吾 (民俗学)
3. 「祈り」を広めることー初期近代オランダの東洋学者たちと
オスマン帝国における宣教ー 稲垣 健太郎 (比較文学)
4. 原爆・核の表象と〈祈り〉 野坂 昭雄 (日本文学)

ゲストコメンテーター

山中 明 (環境生物学)

野崎 隆之 (情報科学)

コーディネーター

竹中 幸史 (西洋史学)

黒羽 亮太 (日本史学)

人文学部の異なる分野の教員4名が、「祈り」を共通テーマに講義を行い、学生とディスカッションします。学内外問わず聴講いただけますので、ふるってご参加ください。

申込先:山口大学人文学部学務係

E-mail:hc134@yamaguchi-u.ac.jp

TEL:083-933-5209